

土木工学・建築学委員会インフラ高度化分科会（第25期・第8回）議事要旨

日時：令和4年5月23日（月）13:00～14:20

会場：オンライン Zoom

出席者/以下敬称略：

小林潔司，竹脇出，小松利光，高橋良和，多々納裕一，那須清吾，西嶋一欽，安福規之，小野潔

配布資料：

- 資料1 前回（第7回）議事要旨
- 資料2 WG4資料，WG1資料（資料番号無し）
- 資料3 学術シンポジウム開催内容案
- 資料4-1 IRDR分科会意思の表出申出書
- 資料4-2 IRDR分科会提言骨子概要案
- 資料4-3 防災減災連携研究ハブJHoPについて
- 資料5-1 意思の表出等の作成手続について
- 資料5-2 意思の表出に関する第三部査読等手順
- 資料5-3 別紙様式1・2に関する補足説明
- 資料6 第10～12回の日程について

1. 前回議事要旨の確認

西嶋委員より第7回分科会議事録の紹介がなされた。議事録案に対するコメント等は以下の通り。

- ・7月26日（火）10:00～12:00のシンポジウム登壇者による打ち合わせはキャンセルとし、後日、日程を調整する。

2. 各WGからの報告

各WGの活動状況について以下の報告があった。

- ・那須委員から資料に基づき、「1. インフラ性能の高度化ための技術戦略」報告書案の説明があった。なお、資料には法律・組織に関する記述がないので、今後、検討を実施して追加する予定である。
- ・W2,WGについては、特段の報告事項は無しとの紹介があった。
- ・小野から資料に基づき、WG4におけるシンポジウムの検討状況、確認事項について紹介

があった。確認事項については、次の「学術シンポジウムの開催について」の中で他の項目とあわせて確認することとした。

3. 学術シンポジウム開催について

8月10日に開催の学術シンポジウムについて議論した。主な内容は下記の通り。

- ・学術シンポジウムとあわせて分科会を開催する。
- ・シンポジウムの講演者・パネリストとして女性の登壇者が少ないとの指摘が学術会議事務局からあった。そこで、小林委員長から佐々木葉先生にパネリストとしての参加を依頼していただき、佐々木葉先生から了解をいただいた。
- ・本シンポジウムに関係する委員会等連絡会議として「持続可能な発展のための国際基礎科学年 2022」(IYBSSD2022) 連絡会議とすることが報告された。
- ・土木学会、建築学会の共催の件について、学術会議からの正式な依頼状を受け取った時点で両学会の理事会に諮って決定する予定である。学術会議から両学会への依頼状については6月29日の学術会議の幹事会で了承される予定である。
- ・玉越氏についても、学術会議から国交省に対して正式に講師としての依頼状を出す予定である。
- ・今回のシンポジウムは、第24期の時のシンポジウムに準じた形で実施する予定であるが、ハイブリッド形式での開催という点が、第24期のシンポジウムと大きく異なる点である。ハイブリッド形式の実施のため、小林委員、高橋委員、小野を中心に、事前に学術会議の会議室で確認作業を実施することとなった。
- ・ポスターの原案は、小林委員長が現在準備されており、後日、メール審議をさせていただく予定である。
- ・シンポジウム当日に使用する大きなポスターは、安福委員に準備いただき、当日、会場に持ち込んでいただく。
- ・当日の受付、補助をしてもらう方への依頼は、小林委員長、小野で実施する。
- ・共催の定義について確認する。
- ・開催趣旨の2行目の「大規模修繕・更新」を「大規模修繕・更新・新設」に変更する。
- ・パネルディスカッションの時間配分について、パネリストからの話題提供は各自（小池先生は講演されるため話題提供は実施されない）10分の合計40分、ディスカッションは40分とする。
- ・シンポジウムで対象とするインフラは、国交省管轄のものに限定せず、幅広く議論する。
- ・パネルディスカッションの関係者は事前に打ち合わせをすることとし、後日、日程調整する。

4. 意思の表出について

資料に基づき、意思の表出について小林委員長より説明があった。詳細は各委員で資料の

内容を確認して欲しいとのことである。意思の表出に関する議論・コメント等は下記の通り。

- ・本分科会は「見解」で意思の表出をする予定である。
- ・IRDR 分科会は意思の表出として「提言」を発出す予定である。IRDR 分科会の林委員長から、本分科会の小林委員長に、本分科会も IRDR 分科会と共同で提言に参加して欲しいとの依頼があり、引き受けることとした。IRDR 分科会で作成いただく提言案を本分科会にも回していただき、意見等があれば IRDR 分科会にお伝えし、IRDR 分科会で取りまとめいただくことになる。
- ・見解を出すため、意思の表出の申出書を作成する必要がある。小池委員の作成された資料を参考にして各 WG で作成した資料を基に申出書案を作成する。その後、本分科会の全体を横断的に検討する WG の委員の方を中心に内容を精査し、年内には見解の素案を作成する予定である。

5. 今後の予定

- ・8月10日のシンポジウムの前の12:00~13:00に第9回分科会を開催する予定であり、分科会の会議室は既に予約済みである。
- ・第10回分科会を10月6日(木)10:00~12:00、第11回分科会を12月15日(木)14:00~16:00(確定)、第12回分科会を2月28日(火)13:00~15:00にZOOMで開催する予定である。
- ・10月6日の第10回分科会の前に、WG長会を実施し、意見の表出の申出書案を作成する予定である。WG長会の前に、小林委員長、幹事の高橋委員、小野で打ち合わせを実施する。

6. その他

- ・5月16日の土木工学・建築学委員会全体会で小林先生が紹介されたPPTを本分科会の委員で共有することとした。
- ・7月7日に開催予定のIRDRの学術フォーラムで、本分科会として紹介して欲しい事項があれば、多々納委員に連絡する。

(文責：小野)